学校番号	3016

令和３年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	異文化理解	2	第２学年	啓林館 Revised Element English Communication Ⅱ 啓林館 Revised Element English Communication Ⅲ

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では「読む」「聞く」だけでなく，理解した事柄についてその概要や，自分の考えを「話す」「書く」活動を，ペア・ワークやグループ・ワークで行うことが多くなります。英語でコミュニケーションしようとする意欲を持ち，多様な言語活動に意欲的に取り組んで下さい。

音読や口頭での表現活動もたくさん行います。音読は授業で行うだけではなく，自宅でも十分に練習するようにして下さい。音読練習によって、語彙・文法・リスニングの力が大きく伸びます。

日ごろから英語で考える習慣を身につけましょう。見た、聞いた、感じたことについて「これは英語でどう表現するのか」と問いかけ、調べ、実際に使う事を習慣化してみましょう。このプロセスを経ることで、「使える英語」としての表現が増えていきます。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「異文化理解」（２単位)、「総合英語」:（１単位）及び「英語表現」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・特定の情報や自分の考えなどについて相手に説明したり、また相手に質問するなど、情報交換や意見交換をすることができる。 ・興味・関心のあるトピックに関して具体的な理由を示しながら説得力をもって、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・様々なトピックに関して、他者の意見を聞き、自分の意見を正確に表明し、円滑に会話を進めることができる。	総合英語 異文化理解 英語表現 ・スピーチ ・会話テスト ・プレゼンテーション	・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で、時間をかけた修正を経て書くことができる。 ・与えられたトピックに関して、少しの時間の準備で自分の意見を明確にしながらまとまりのある英文を書くことができる。	総合英語 異文化理解 英語表現 ・定期考査 ・パラグラフライティング	・自然な速さで話される講義やスピーチ、会話を聞いて論旨を捉えた上で、概要や要点を理解することができる。 ・自然な速さで標準的な発音で話される会話の流れについていくことができる。	総合英語 異文化理解 英語表現 ・定期考査 ・リスニングテスト	・評論、エッセイなどを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら全体の概要を把握することができる。 ・あるまとまった文章を辞書に頼りすぎることなく、一定の速度で読み続け、全体の概要を把握することができる。	総合英語 異文化理解 英語表現 ・定期考査 ・X-reading

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
English Communication ⅡLesson 3 A Teenager To Change the World (10 時間)	・ジャックが研究を始めた経緯について理解する。 ・研究におけるジャックの苦労について理解する。 ・ジャックが成功した理由について理解する。 ・世界を変えるために何ができるかについて書く。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		世界を変える高校生の大発見の話について、知っていることや思っていることを発言しようとしたり聞こうとしたりする。	ワークシートを利用して、知っていることをメモに取り、まとめる。	世界を変える高校生の大発見の話に関心を持ち，ペア・ワークやグループ・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べようとする。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		世界を変える高校生の大発見の話についての説明を聞くこと，読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を聞いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	世界を変える高校生の大発見の話についての説明を聞くこと，読むことで理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界を変える高校生の大発見の話に関する語彙についての知識がある。 ・用いられている文法事項/英語表現を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	・テーマについての知識を発信できる。 ・用いられている文法事項/英語表現を理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
English Communication ⅡLesson 4 Life in a Jar (10 時間)	・イレーナがユダヤ人のために行ったことを理解する。 ・イレーナが警察につかまってから解放されるまでの経緯を理解する。 ・イレーナの後悔について理解する。 ・自分がイレーナの立場だったらどうするかについて書く。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		2,500 人のユダヤ人を救った女性の話について自分なりに考えた意見を発言しようとしたり，しっかり聞こうとしたりする。	ユダヤ人を救った女性の話に関して自分の経験・感想などをペアで話し合う	ユダヤ人を救った女性の話について自分なりに考えた意見を発言しようとしたり，しっかり聞こうとしたりしている。	ペア・ワークやグループ・ワークの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		ユダヤ人を救った女性の話についての意見を理解する。	セクションごとに本文の音声を聞いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	ユダヤ人を救った女性の話に関する話を聞くこと，読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ユダヤ人を救った女性の話についての知識がある。 ・用いられている文法事項/英語表現を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	・ユダヤ人を救った女性の話について理解できる。 ・用いられている文法事項/英語表現を理解することができる。	定期考査において、文法知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
English Communication ⅢLesson 1 Lies, Damned Lies, and Statistics (10 時間)	・統計がどのように嘘をつくかについて理解する。 ・折れ線グラフを使ったデータの見え方の違いを理解する。 ・統計を利用する際に筆者と読者が気をつけるべきことについて理解する。 ・なぜ誤解を生むような統計データが使用されるのか，またそれをどのように見抜くかについて話し合う。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		統計にひそむ嘘について，知っていることや思っていることを発言しようとしたり，聞こうとしたりする。	ワークシートを利用して、知っていることをメモに取り、まとめる。	統計にひそむ嘘に関心を持ち，ペア・ワークやグループ・ワークにおいて積極的に自分の考えを述べようとする。	ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		統計にひそむ嘘についての説明を聞くこと，読むことで理解する。	セクションごとに本文の音声を聞いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	統計にひそむ嘘についての説明を聞くこと，読むことで理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・統計にひそむ嘘に関する語彙についての知識がある。 ・用いられている文法事項/英語表現を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	・統計にひそむ嘘についての知識を発信できる。 ・用いられている文法事項/英語表現を理解することができる。	定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
English Communication Ⅲ Lesson 2 Language Extinction (10 時間)	・何が言語を消滅させるのかを理解する。 ・言語が消滅するときに私たちが失うものは何かを理解する。 ・世界の言語を守るためにどのような取り組みが行われているかを理解する。 ・日本で英語を話す人々が増えれば，日本語も消滅すると思うかについて話し合う。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		言語の消滅について自分なりに考えた意見を発言しようとしたり，しっかり聞こうとしたりする。	言語の消滅に関して自分の感想などをペアで話し合う	言語の消滅について自分なりに考えた意見を発言しようとしたり，しっかり聞こうとしたりしている。	ペア・ワークやグループ・ワークの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		本文の要点をまとめる。聞き手に伝わるように発表する。	キーワードをもとに要約文を作り、ペアやグループ、クラスで発表し合 う。	本文の要点をまとめることができる。聞き手に伝わるように発表することができる。	言語活動を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として、活用する。
		「英語理解の能力」			
		言語の消滅や世界の言語を守る取り組みについて理解する。	セクションごとに本文の音声を聞いたり読んだりして、ワークシートを用いながら、内容を理解していく。	言語の消滅に関する話を聞くこと，読むことで理解することができる。	定期考査において、内容理解を問う出題により、内容理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・言語の消滅についての知識がある。 ・用いられている文法事項/英語表現を理解する。	例文を通じて、その性質を理解する。	・言語の消滅についての知識を発信できる。 ・用いられている文法事項/英語表現を理解することができる。	定期考査において、文法知識が身についているかを判断する。